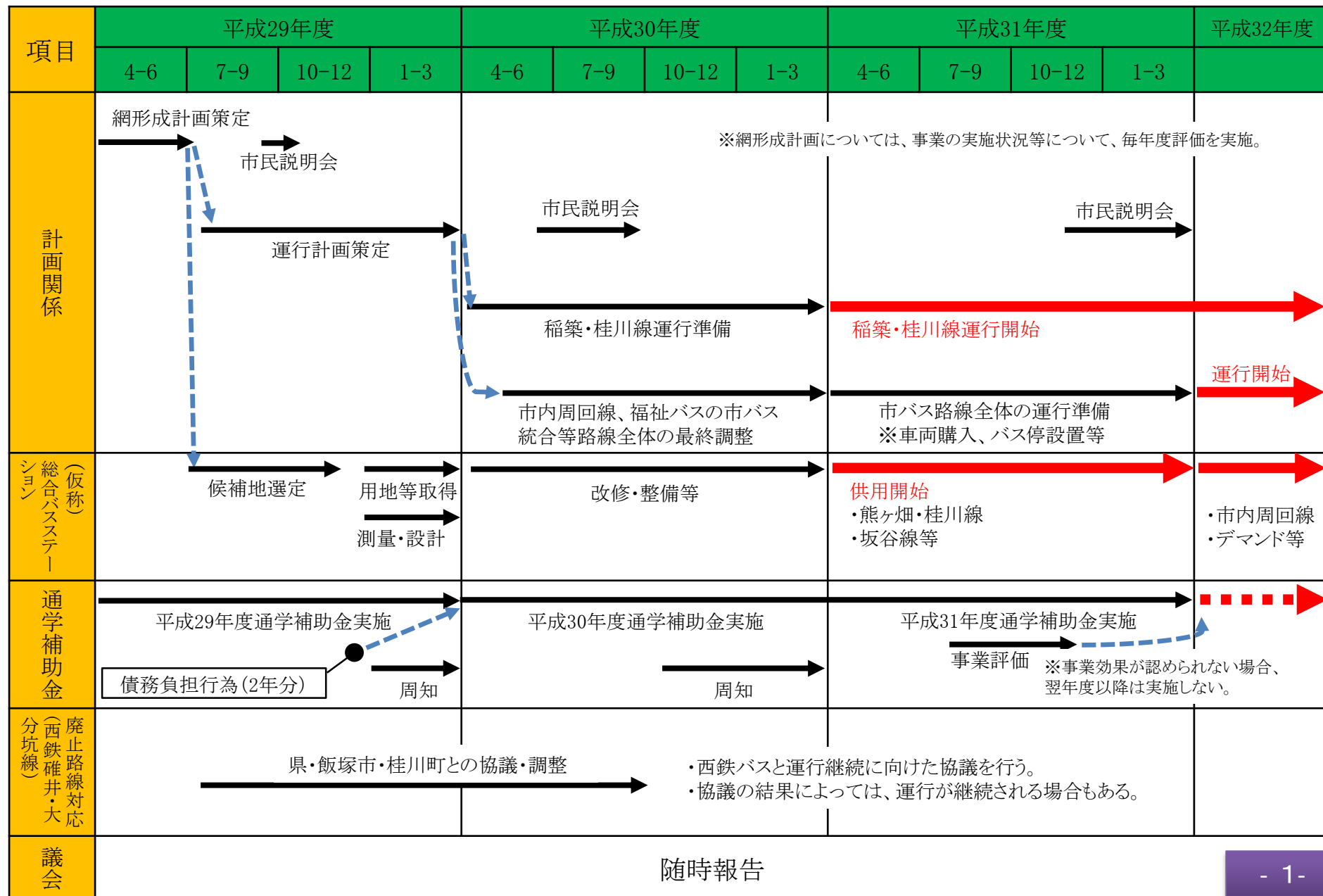


地域公共交通に関する進捗状況等について

平成29年12月6日
嘉麻市 地域活性推進課

1 地域公共交通に関する進捗状況について



2 嘉麻市地域公共交通網形成計画について

嘉麻市地域公共交通網形成計画の進捗状況については以下のとおり。

①地域公共交通に関する市民説明会について

◇地域公共交通に関する市民説明会周知状況

- ・ 広報誌掲載（嘉麻市HP掲載）
・・・ 平成29年9月1日
- ・ 行政区回覧
・・・ 平成29年8月16日、9月29日
- ・ チラシ配布
・・・ 公共施設、市バス、道の駅、
カッホー馬古屏、医療機関
等に掲示依頼
- ・ 新聞記事掲載
・・・ 次ページ参照

地域公共交通に関する市民説明会

～ これからの嘉麻市の公共交通！ ～

嘉麻市における公共交通の基本計画である「地域公共交通網形成計画」が完成しました。
今回の説明会では、この計画の方針や嘉麻市における地域公共交通の将来像等について説明します！



BUS STOP

市民のみなさまのご参加をお待ちしています！

日時・会場

開催日	時間	会場	説明者
平成29年9月17日（日）	10時～	碓井住民センター ※中止	地域活性推進課 職員
平成29年9月20日（水）	15時～	夢サイトかほ（終了）	
平成29年9月27日（水）	19時～	稲築地区公民館（終了）	
平成29年9月29日（金）	10時～	山田生涯学習館	
平成29年10月29日（日）	10時～	碓井庁舎2階 会議室3	

※この日程以外でも、出前講座を実施しますので、お気軽にご連絡ください。

【問合せ先】

嘉麻市役所 地域活性推進課（碓井庁舎 2階）
嘉麻市上臼井44番地1 ☎ 0948-62-5677
ホームページ <http://www.city.kama.lg.jp/>



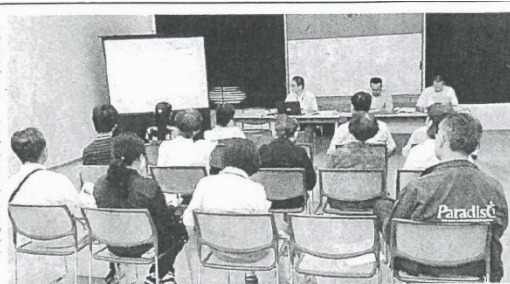
かましちゃん

△ 各行政区へ行政文書配布チラシ
平成29年10月1日配布（※配布はモノクロ）

公共交通 市民の要望相次ぐ

嘉麻市で市民説明会 「本数や路線増を」

嘉麻市は、同市大隈町の「夢サイト」かほで、市内の公共交通の現状や将来像に関する説明会を開いた。市民13人が担当職員と意見交換した。同市では、市バスや福祉バスを運行しているが、合併前の旧市町単位での形態を維持しており、サービス水準の格差や利用者減が問題になっていた。市は今年7月に策定した「市地域公共交通網形成計画」を基に市民の声を吸い上げ、新しい運行計画に反映させる方針だ。



嘉麻市の公共交通の現状と将来像に関して住民と意見が交わされた説明会

市によると、市バス・福祉バスの利用者は2015年度は約15万3千人（1日平均約420人）で、3年前より2万人減。経費から収入を引いた財政負担は同年度8350万円に上ったという。「路線やダイヤなどの面から西鉄バスの方が利便性が高い」「運行本数が少ない」「地区でサービス水準に格差がある」などの課題が挙がっていた。20日の説明会では、市民から複数の意見が出た。運転免許証を返納しているという男性は「小さいバスでもっと路線を増やしてくれる方がいい」と要望。福祉バスを利用しているという女性は「停留所の表示が少なく、乗り降りする場所が分からない。もっと市民の利便性を考えてほしい」と訴えた。「スーパー、病院、役所に行くのに利用する頻度が高い」「西鉄バスが今後撤退することはないのか」との声もあった。

△ 平成29年9月30日西日本新聞

嘉麻の公共交通 将来像を考える

課題解決へ目標掲げ

各地で説明会

嘉麻市は、公共交通の将来像をまとめた「地域公共交通網形成計画」の市民説明会を開く。夢サイトかほ（20日午後3時）、稲築地区公民館（27日午後7時）、山田生涯学習館（29日午前10時）で、確井住民センターでの17日の説明会は台風の影響で中止された。計画では、福岡・北九州

都市圏への移動手段が不足している▽通学への対応が不十分で、高校進学を機に市外に転出する例も多い▽市域をまたぐバス路線が少なく――と指摘。こうした課題を解決するための目標を掲げている。

者への負担軽減策の検討、「利用しやすい公共交通」では老朽化したバス停の整備などを挙げている。「利便性」では、交通空白地の移動手段の確保▽稲築から桂川駅への公共交通路線の設定▽牛隈へのバス乗り継ぎ拠点の設置▽病院やスーパーへの乗り入れ推進▽市バスと西鉄バス・JRとの乗り継ぎを考慮した運行ダイヤ▽乗り継ぎ割引や高齢者割引の導入――を挙げ、「持続性」では市バスラッピングによる収入確保などに言及している。

説明会の問い合わせは市地域活性化推進課（0948・625677）へ。（重花昌弘）

△ 平成29年9月18日朝日新聞

2 嘉麻市地域公共交通網形成計画について

○地域公共交通に関する市民説明会参加状況

開催日時	会場名	参加者数
平成29年9月17日（日）——10時	碓井住民センター 文化ホール	台風により延期
平成29年9月20日（水） 15時	夢サイトかほ 大研修室	14人
平成29年9月27日（水） 10時	稲築地区公民館 講義室	18人
平成29年9月29日（金） 10時	山田生涯学習館 第1・2研修室	12人
平成29年10月29日（日） 10時	碓井庁舎2階 会議室3	9人
	合計	53人

主なご意見

- ・ 分かりやすい説明でよかった。
- ・ 出前講座に来てほしい。
- ・ 福祉バスに利用の制限があるため、利用しにくい。
- ・ ある一定程度の受益者負担は仕方がない。
- ・ デマンド交通を導入してほしい。
- ・ 市バスと西鉄バスの接続時間を合わせてほしい。
- ・ 病院やスーパーへ乗り入れてほしい。
- ・ 土日、祝日にバスを運行してほしい。



△ 稲築地区公民館での説明会の様子

3 高校等通学補助金について

高校等通学補助金の実施状況については以下のとおり。

①周知等の状況について

【議員報告】	平成29年3月27日（月）	※タブレット送信	
【広報嘉麻掲載】	平成29年5月1日（月），8月1日（火）		
【行政区回覧】	平成29年4月3日（月），4月14日（金），6月15日（木）		
【チラシ配布】	（各学校）平成29年3月30日（木），6月26日（月） （交通事業者）平成29年3月30日（木），6月27日（火）		
【ホームページ掲載】	（記事）平成29年3月27日（月），4月14日（金），6月15日（木） （動画）平成29年5月18日（木）		
【新聞記事掲載】	平成29年5月10日（水），5月11日（木）		
【市民説明会】	平成29年5月11日（木）19時～	夢サイトかほ	参加者：9人
	〃 5月14日（日）11時～	稲築地区公民館	〃：4人
	〃 5月14日（日）18時～	山田生涯学習館	〃：2人
	〃 5月22日（月）19時～	碓井住民センター	〃：8人
【アンケート】	（補助金利用者対象）	平成29年8月16日（水）発送	
	（高校等通学者対象※利用者を含む）	〃 9月22日（金）配布	

《アンケート概要》※現在分析中

◇アンケートでは、「とても助かっている。」、「来年度以降も続けてほしい。」といった意見が多い。

◇利用者の90%が「満足」、「やや満足」と回答。

◇その他の要望事項の主なもの

（通学補助金に関して）

- ・補助率を上げてほしい。
- ・申請手続きを簡素化してほしい。
- ・土、日曜日や遅い時間まで申請を受け付けてほしい。
- ・中学生の時に知らせてほしかった。

（公共交通機関に関して）

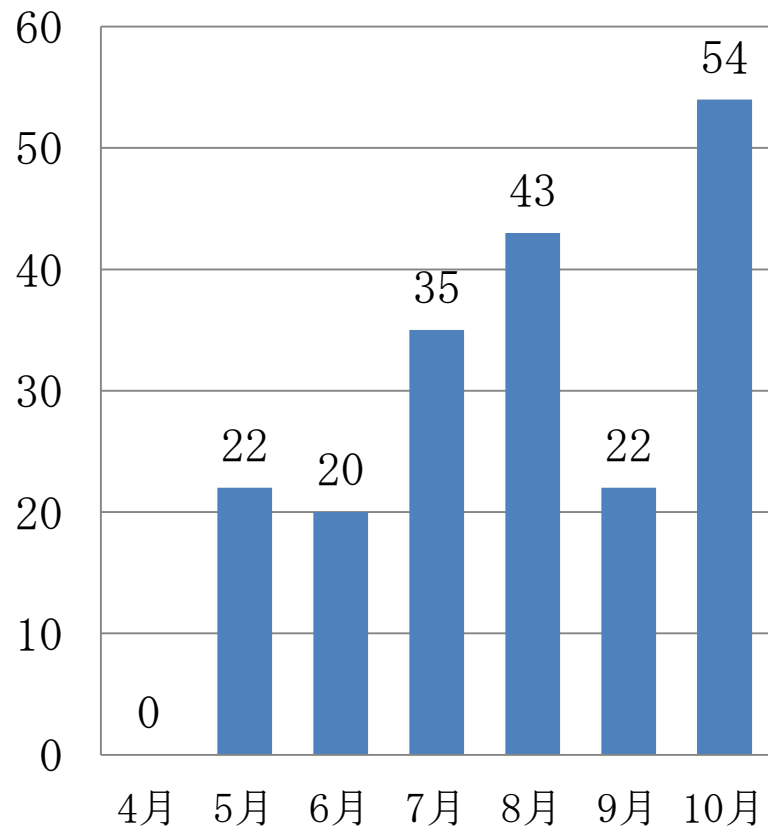
- ・バスの本数を増やしてほしい。
- ・乗り継ぎが大変。
- ・稲築から桂川に行く便が欲しい。
- ・それぞれの高校行のバスが欲しい。

3 高校等通学補助金について

②申請状況についてについて（平成29年10月31日現在）

申請件数 196件
 申請者数 121人（通学者の保護者）
 通学者数 137人

月別申請件数



地域、学校別高校等通学補助金利用通学者数

学校名	山田	稲築	碓井	嘉穂	合計
嘉穂東高等学校	8人	8人	4人	13人	33人
嘉穂高等学校	4人	6人	2人	6人	18人
飯塚高等学校	4人	5人		7人	16人
近大附属福岡高等学校		4人	2人	5人	11人
稲築志耕館高校	4人		2人	4人	10人
嘉穂総合高等学校	5人	1人		1人	7人
嘉穂高校附属中学校		2人	1人	1人	4人
飯塚日新館中学校		1人	2人		3人
大隈城山校	1人				1人
その他(嘉飯地域外)	1人	19人	12人	2人	34人
合 計	27人	46人	25人	39人	137人

その他（嘉飯地域外）：大和青藍高校、東筑紫学園高校、博多青松高校、飛鳥未来高校、博多女子高校・中学校、東福岡高校、九州国際大学付属高校、自由ヶ丘高校、折尾愛真高校、筑紫女学園高校・中学校、明治学園高校・中学校、照曜館中学校、福岡水産高校、久留米大学附設中学校、直方高校、東明館高校、高稜高校、久留米工業高等専門学校、九州産業大学付属九州高校

4 西鉄バス路線廃止申し入れに関する対応について

西鉄バス路線の廃止申し入れに対する対応については、平成29年12月 行政報告のとおりである。
今後も経過等について、随時報告を予定する。

【平成29年12月1日 行政報告（抜粋）】

「略」

ご承知のとおり、西鉄バス筑豊株式会社が運行する「碓井・大分坑線」につきましては、平成30年10月1日を予定とする路線廃止の意向が示されております。

当該路線は、本市から桂川駅方面や飯塚方面に向かう重要な移動手段であり、路線の維持確保につきましては、これまで福岡県地域交通体系整備促進協議会を通じ、毎年要望活動を行ってきたところです。

西鉄バス筑豊株式会社においても、当該路線の廃止は、本市内で1日当たり約200人程度が利用しており、地域に与える影響が多大であることを認識し、赤字であるにもかかわらず、これまで国、県補助金の活用や企業努力により、運行を継続されてこられました。

しかし、ここ数年、当該路線利用者の減少が著しく、企業努力による路線維持も限界に達したと判断され、本年6月30日に福岡県バス対策協議会に対し、路線廃止の意向について申し入れが行われたところです。

この申し入れを受け、当該路線に影響のある本市と飯塚市、桂川町の2市1町と福岡県交通政策課を交え、今後の対応について協議を進めております。

現在の協議の状況としましては、2市1町とも当該路線の存続は必要不可欠であると認識しており、運行に係る経費の一部を2市1町で補助してでも存続していくことで協議を進めております。

なお、運行経費を補助するにあたっては、利用促進等の対応を図りながら、より効率的な運行を模索し、利便性を確保しながらもできる限り補助する金額を縮減できるよう、2市1町で協議、調整を進めているところです。

今後につきましては、福岡県交通政策課を交えて、2市1町で取りまとめた路線存続に関する調整内容をもって、西鉄バス筑豊株式会社と協議調整を進めていくこととしており、協議の進捗状況等につきまして、議会へ報告するとともに、協議の状況をみながら、市民の皆さまへの周知等を行っていきたいと考えているところでございます。

「略」